

第1期ふくい創生・人口減少対策戦略

— 人口減少時代に福井がもっと元気になるために —

〔戦略の概要および5年間の成果〕

令和2年7月作成

あらかじめ、
幸せだったらいいな。

幸せ度
いちばん
福井県

将来のめざす姿

このまま人口減少が進むと…

2040年の
本県人口

60万人

に減少

当初目標
63万人

をめざす

- ・2020年に社会減半減
- ・全国上位の出生率を維持

3年間の成果に
基づく推計人口
64.7
万人

高い目標を掲げ、達成をめざします

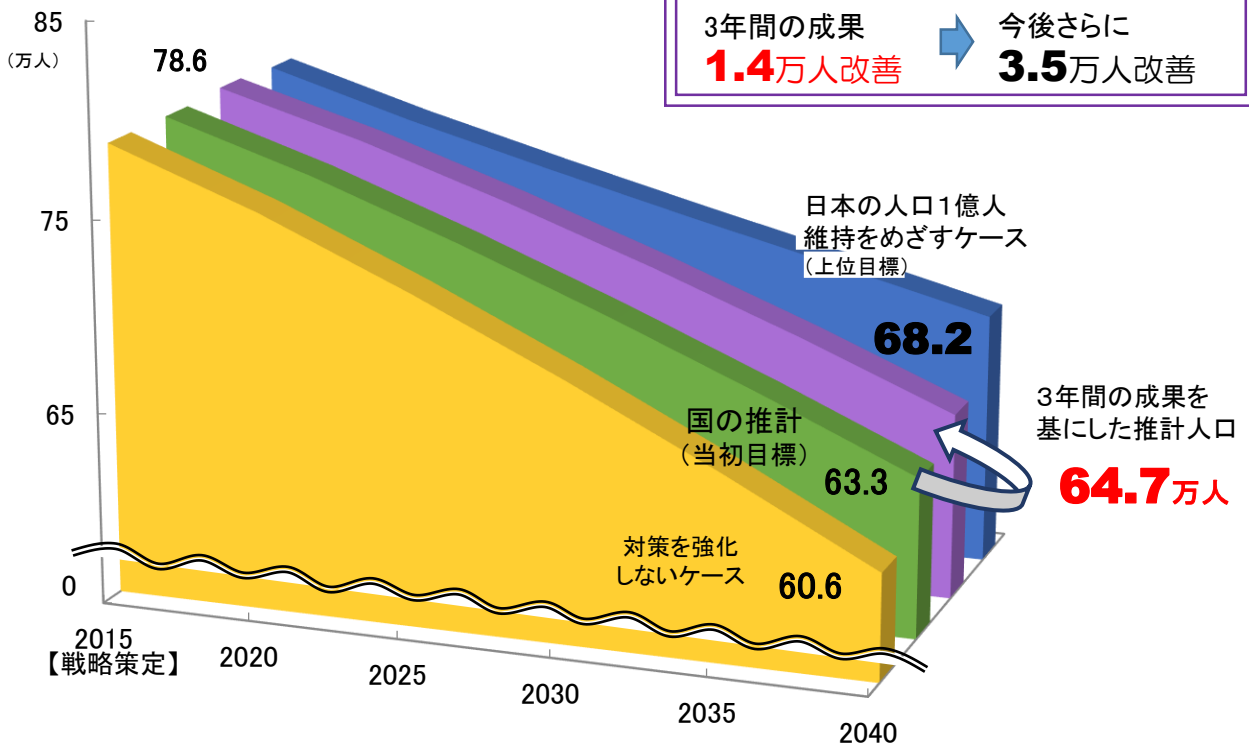
上位目標

68万人

に近づける

- ・2020年に社会減ゼロ
- ・2040年に出生率2.07

〔福井県の総人口の推移〕



自然減

子どもの産まれる数より死亡する人が多い状態

出生数
(5,306人)

死亡者数
(9,593人)

約4,300人
減少

社会減

県内に転居する人より県外転居する人が多い状態

県内への
転入者
(8,384人)

県外への
転出者
(11,216人)

年間約2,800人
減少

※2019年の現状

日本一の「結婚・子育て応援社会」をつくります

結婚・出産の希望に応え人口減に歯止めをかけます〔自然減対策〕

目標 全国トップクラスの合計特殊出生率を維持します (R1)

目標の進捗状況

戦略の計画期間

	2014年 (H26)	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	目標値	2020年	2030年	2040年	人口 見通し
合計特殊 出生率	1.55	1.63	1.65	1.62	1.67	1.56					
(全国順位)	(14位)	(10位)	(8位)	(11位)	(7位)	(11位)	社人研 準拠	1.50 程度	1.50 程度	1.50 程度	633 千人
全国平均	1.42	1.45	1.44	1.43	1.42	1.36	国ビジョン 準拠	1.60	1.80	2.07	682 千人

主な施策

「ふくい結婚応援企業」の登録を拡大し、職場や地域の「縁結び」活動を活発化させ、結婚を希望する男女の出会いを積極的に後押ししました。

県の支援事業による婚姻件数

H27

74件



R1

169件



「職場の縁結びさん」が結婚支援を学ぶ研修会

(関連指標)

ふくい結婚応援企業登録数

H27〔新たに導入〕 ⇒ R2.3月現在 371社

3人目以降の子どもの保育料を完全無料化するなど、福井発の「3人っ子応援プロジェクト」を拡充したほか、社員ファースト企業の認定制度を創設して、働きやすい職場環境の整備に努めるなど、日本一の子育て環境づくりを進めました。

母子保健と子育て支援窓口のワンストップ化を実現した市町

H27

〔新たに導入〕



R1

17市町



子どもが遊ぶ様子を見ながら気軽に相談できるワンストップ窓口の整備

女性活躍推進企業登録数

H27

〔新たに導入〕



R1

265社

戦略に掲げた主なプロジェクト

○県民参加で「縁結び」活動を拡大

- 結婚応援ボランティアの「地域の縁結びさん」や結婚相談員が、出会いを求める若者の縁結びを進めています。
(成果指標)「地域の縁結びさん」登録者数 291人(R2.3末)
- 縁結びさん同士が情報交換等を行う「縁結び交流室」を設置し、さらに「ふくい縁結び学校」を開講するなど、その活動をサポートしています。
- 結婚応援企業が「職場の縁結びさん」を配置し、独身社員の交流会を開催するなど、職場のつながりを活かした縁結びを進めています。
(成果指標)「職場の縁結びさん」登録者数 565人(R2.3末)
- 「企業間交流婚シェルジュ」を配置し、企業間交流セミナー等を開催するなど、若手の独身者の交流を拡大しています。
- 結婚や家族の良さを伝える「いいね！結婚ふくいキャンペーン」を進め、若い世代の結婚を県全体で応援しています。



縁結びさん同士の交流会や相談会等を開催



「ふくい縁結び学校」を開催し、結婚相談の知識を習得

○子育て世代の経済的支援を強化

- 全国に先駆けて第3子以降の保育料等の無料化を進めてきた成果を踏まえ、市町とともに対象の第2子への拡充など多子世帯への支援を強化します。
(成果指標)「すまいるFカード」所有世帯数
約1万世帯(H27) ⇒ 約1.2万世帯(R1)
- 子どもが小さい間は家庭で子育てができるよう育児休業や短時間勤務等の取得を応援する助成制度を拡大しています。
(成果指標)ふくいの子宝応援給付金件数 305件(H27～R1)
- 不妊治療費に対する助成をはじめ、子育てマイスターが育児等に関する相談に応えたり、一時預かり等の子育てサービスの対象者や実施施設を増やすなど、妊娠から出産・子育てまで切れ目ない支援を広げています。
(成果指標)特定不妊治療助成件数 6,249件(H27～R1)
すみずみ子育てサポート一人あたり利用時間
4.2時間(H27) ⇒ 4.7時間(R1)
- 三世帯同居住宅のリフォームや近居住宅の取得を支援しています。
(成果指標)同居・近居住宅への助成件数 533戸(H27～R1)



「すまいるFカード」提示者に特典サービスを提供



市町と協力して一時預かり等の保育サービスを拡充

○子育てと仕事の両立を応援

- 働きやすい職場環境づくりを進める企業を支援する「社員ファースト企業」制度を創設し、働き方改革を宣言した企業への研修費用補助や優秀企業の認定を行います。
(成果指標)社員ファースト宣言企業数 56社(R1)
- 女性の仕事と家庭の両立を応援する「ふくい女性活躍推進企業」への参加を拡大しています。
- 育児による離職者の再雇用制度など、女性が働きやすい社内制度を県内企業に広げています。
(成果指標)女性が働きやすい社内制度導入企業数 122社(H27～30)
- 病気療養中の子どもを預かる病児保育の実施施設を増やすなど、仕事と子育ての両立を応援しています。
(成果指標)病児保育施設数 18施設(R1)



合同企業説明会において女性活躍推進企業をPR

福井に住み続ける人、戻ってくる人を増やします

UIターン、県内定着を強力的に促進します〔社会減対策〕

目標 UIターン者数550人(R1)、中長期的に社会減ゼロを目指します

目標の進捗状況

戦略の計画期間

	2014年 (H26)	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	目標値	2020年	2030年	2040年	人口 見通し
社会減	2,246人	2,154人	1,820人	1,519人	2,159人	2,832人	社人研 準拠	社会減を半減 その後、同水準を維持			633 千人
東京圏の 転入超過	10.9 万人	11.9 万人	11.8 万人	12.0 万人	13.6 万人	14.6 万人	国ビジョン 準拠	社会減をゼロ その後、同水準を維持			682 千人

主な施策

全市町とともに新設した福井Uターンセンターが中心となり、「幸福度日本一」の生活環境や雇用環境の良さを全国にPRし、若者や女性のUIターンを拡大しました。

UIターン者数

H27

460人



R1

820人



福井Uターンセンターにて移住希望者への相談・情報提供を実施

(関連指標)

学生Uターン就職率

H27.3卒 26.2% ⇒ H31.3卒 32.1%

※調査開始以後、最高

若者や女性の就業希望が多い企画開発や研究部門など、本社機能の誘致を進めるとともに、県内に多くの優れた企業があることを紹介し、県内就職を促進しました。

本社機能の誘致数 (累計)

R1

11件

- ・新規雇用数 419人
- ・設備投資額 74億円



敦賀市や美浜町等における新たな産業団地の整備
(若狭美浜IC産業団地)

県の支援事業による産業人材の就職件数 (累計)

H27

〔新たに支援〕



H30

89件

○Uターンの受入れ体制を強化

- ・福井、東京、大阪、名古屋に「福井Uターンセンター」を設置し、仕事や住まいの紹介から引っ越しまでトータルでサポートしています。また、「人材開拓員」を新たに配置して、企業や移住イベントに出向き、移住希望者の掘り起しを行うとともに、移住就業・起業への助成制度を創設するなど、移住支援を強化しています。
(成果指標)Uターンセンター相談件数 5,822件(H27) ⇒ 9,326件(R1)
- ・Uターン経験者との交流会を開催したり、奨学金の返還を支援するなど、県外学生のUターン就職を応援しています。
(成果指標)奨学金返還支援認定者数 137名(H28~R1)
- ・県内企業の仕事内容を具体的に説明する冊子を作成したり、保護者向け企業説明会やバスツアーを開催するなど、優れた県内企業の紹介を積極的に行っています。
(成果指標)「働くなら、福井！」掲載企業 928社(R2.3末)
- ・県外学生に県内企業の魅力等を紹介する合同企業説明会を開催。就職支援サイト「働くなら、福井！」に登録した学生に県内企業情報を提供し、Uターン就職を促進します。
- ・「子育て世帯の移住幸福度日本一」をアピールし、結婚・子育て世代の移住を進めています。
(成果指標)社会人向け移住・就職フェア参加者数 1,670名(H28~R1)



Uターン就活先輩等が学生に福井の企業を紹介



優れた県内企業を訪問する保護者向けバスツアーを開催



県内企業の魅力情報や就職関連情報を発信

○県内進学・県内就職を応援

- ・県内進学・就職の拡大に取り組む県内大学等を応援する制度を新たに作りしました。アオッサ内の大学連携センター「Fスクエア」に、就職相談等を行うキャリアナビセンターを設置しました。
(成果指標)Fスクエアの受講者数 34科目1,153人(R1)
- ・県内全ての大学等が参画する「FAA ふくいアカデミックアライアンス」を設立し、企業・市町と連携したPBL(課題解決型学習)や共同研究を強化するなど、県内大学の魅力アップや情報発信を進めています。
- ・幅広く農の知識を身に付けた人材育成に向け、県立大学創造農学科の開設準備を進めました。
- ・海外長期留学を応援する奨学金を新たに設けたり、留学生の受入れを進めるなど、福井にしながらグローバルに活躍できる環境づくりを進めています。
(成果指標)県内大学等の留学生数 295人(H27) ⇒ 389人(R1)
- ・求人企業にワンストップで対応する人材確保支援センターを新設し、県内企業の人材確保支援を強化します。
(成果指標)企業相談件数 2,031件(H30~R1)
- ・職業系高校の生徒の資格取得を支援し、「福井フューチャーマイスター」として認定しています。
(成果指標)マイスター認定割合 77%(H28) ⇒ 87%(R1)



県内企業の経営者や社員と県内大学生との交流会



企業の人材確保策に関するセミナーや相談会等を開催

○魅力ある企業を誘致

- ・若者や女性に人気のある企画開発や研究部門など、本社機能の誘致を進めています。
- ・ITや医療産業等への参入支援、起業応援など、県内に新しい仕事の場を増やしています。
- ・誘致企業の受入れ先となる、産業団地の整備を進めています。
- ・人材紹介会社と連携し、県内企業の即戦力となる人材の誘致を進めています。

ローカル産業、グローバル観光革命を進めます

目標 県民所得340万円/人を目指します

主な施策

「福井経済新戦略」や「ふくいの農業基本計画」、「福井県観光新戦略」に基づき、産業や農業、観光面で地域の活力を生み出す施策を着実に実行しました。

農業や伝統工芸のカレッジ受講者数（累計）および県内定着率

H27

84人（－％）



R1

451人（97％）

観光客入込数

H27

1,271万人



R1

1,810万人



ふくい園芸カレッジでの就農研修の実施

戦略に掲げた主なプロジェクト

○研究開発の支援体制を強化

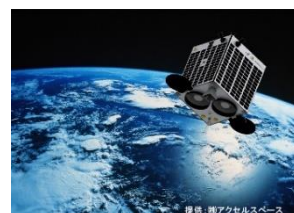
- 「ふくいオープンイノベーション推進機構」を設置し、県内企業の技術開発をサポートしています。

（成果指標）研究開発助成件数 36件（H27～R1）

- 県内企業の技術を活かした超小型衛星開発など、宇宙産業やロボット開発の拠点づくりを進めています。

- 県内企業の生産性を上げるため、福井ものづくり改善インストラクタースクールを開講するとともに、AI・IoT・ロボットの導入等を支援しています。

（成果指標）スクール修了生 51人（H28～R1）



県民衛星「すいせん」（イメージ）

○農業や伝統工芸の後継者を育成

- 水稲栽培などの座学研修や圃場での機械操作実習を行う「越前若狭田んぼ道場」を開講し、後継者の育成を支援しています。

- 園芸、水産、林業、伝統工芸等への就業希望者に技術指導や給付金支給を行い、新たな担い手づくりを進めています。

- ふくい農業ビジネスセンターを新設し、農家レストランや県産ワインづくりなど、里山里海湖ビジネスの研修を行っています。

（成果指標）ふくい農業ビジネスセンターの研修受講者数 245名（H28～R1）



農業ビジネスセンターでの里山里海湖ビジネス研修

○多様な人材の活躍を推進

- 産業支援センターや女性活躍支援センターに創業支援窓口を設置し、先輩起業家との交流会など、伴走型の起業支援を実施しています。

（成果指標）県の支援事業による創業件数 529件（H27～R1）

- 「シニア人材活躍支援センター」を新設し、専門的な技術等をもつシニア人材と県内企業とのマッチングを支援しています。

（成果指標）シニア人材のマッチング件数 234人（H27～R1）

- 相談窓口設置や外国人労働者の技能向上支援など、外国人が住みやすく、働きやすい環境を整備しています。



創業マネージャーによる伴走型支援サポート

持続可能な元気コミュニティを形成します

目標 「地域のにぎわい拠点」を全ての市町で整備します

主な施策

県外から来て地域で活動する若者や本県出身者などを「ふるさと県民」として位置づけるほか、都市人材の誘致を図るなど、地域づくり活動への参加やふるさと納税等を促進しています。

ふるさと県民（累計）

H28

〔新たに開始〕



R1

3.8万人

女性・若者の活動支援件数

R1

〔新たに開始〕



R1

12件



県民ワクワクチャレンジ
プランコンテスト審査会

戦略に掲げた主なプロジェクト

○県外から福井を応援

- ・空き店舗の活用や県内企業の魅力発信など、都市圏在住の企業人材等と市町が連携して実施する地域づくり活動を支援しています。

(成果指標)連携プロジェクト実施市町 6市町(H30～R1)

- ・都市人材を県の広報戦略等を担うアドバイザーとして採用し、「地方兼業」のモデルとなる新しい働き方を進めています。
- ・ふるさと納税の寄付者が、応援したいプロジェクトを選べる仕組みをつくり、外から福井を応援する人のネットワークを広げていきます。

(成果指標)プロジェクト応援型ふるさと納税額

3,034万円(H27) ⇒7,255万円(R1)

○まちの活力を向上

- ・若者のアイデアを県の政策に反映するため、若者による「ふくい若者ミライ会議」を開催するとともに、女性や若者が行う福井を元気にするプランを「ちょい足し」応援しています。
- ・中山間地域における高齢者等の新たな交通手段として、自動走行の実証運行を実施しています。
- ・県内小規模事業者の後継者を広く全国から募集するなど、優れた技術を持つ企業等の事業承継を支援しています。

(成果指標)事業承継の支援件数 77件(H27～R1)

- ・地域の人が集まり、農産物等を販売する「福井ふるさと茶屋」を整備したり、地域のシンボリックな老舗企業や商店街を支援するなど、地域のにぎわいづくりを応援しています。
- (成果指標)ふるさと茶屋整備支援数 20地区(H27～R1)

- ・都市部の学生が福井の仕事や暮らしを体験しながら、地域の祭りなどに参加する「ふくいワークキャンプ」を実施しました。



地域づくり活動に参加する都市
在住者を誘致



若者活動のミライを語り合う
「ふくい若者ミライ会議」



永平寺「参ろ一ど」における
自動走行

幸福なくらしを維持・発展します

目標 全国トップ水準の幸福度を維持します

主な施策

幸福度日本一と評価される本県の住みやすさをさらに高めながら、その魅力を全国に発信するとともに、ふるさとに誇りを持つ子どもを育てる教育を進めています。

幸福度ランキング（一般財団法人日本総合研究所）

H30
3回連続日本一



総合月刊誌の特集掲載、プロジェクションマッピング

戦略に掲げた主なプロジェクト

○幸福度日本一を発信

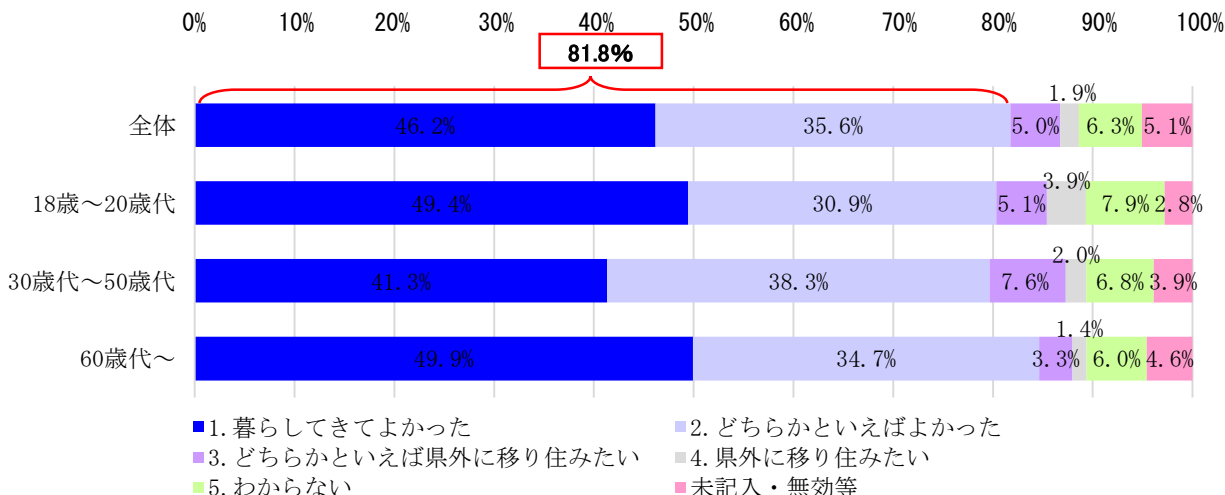
- 「幸せ度いちばん福井県」をPRし、国内外の様々なメディアや書籍等で紹介されています。また、首都圏でのラジオ放送等により、福井の魅力为全国に発信しています。
- 子ども達のふるさと福井への誇りと愛着を育成するため、「ふるさと先生」による特別授業や県内企業訪問など、ふるさと教育を実施しています。

○ふくいブランドを発信

- 北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、恐竜博物館の機能強化や一乗谷朝倉氏遺跡博物館（仮称）の整備を進めるとともに、福井の先人や出来事などにまつわるエピソードを紹介する冊子を制作するなど、本県ゆかりの先人の功績等を全国に発信しています。
- 福井を舞台とした映画や小説を活用して、福井の魅力を発信するプロモーションを展開しています。

長期ビジョン策定に係る県民アンケート調査結果

➤ 県民の約 **8割** が福井での暮らしに満足



■ 調査期間 令和元年8月29日～9月12日
■ 調査対象 県内に居住する満18歳以上の5,000人（住民基本台帳から年代別に無作為抽出）
■ 回答者数 2,504人（回収率 50.08%）

編集/発行

福井県地域戦略部未来戦略課